経済動向調査レポート

令和３年 第３四半期

（調査対象：令和３年７月～９月）

福崎町商工会

令和３年１２月

【目次】

Ⅰ.経済動向のポイント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

Ⅱ.兵庫県の経済・雇用情勢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

1．概況（全体の状況）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

2．県内の主要業種の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

3．地域の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

Ⅲ.景況調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

1．景況調査について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

2．概況（全業種）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

3．業種ごとの集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

①製造業（有効調査数：162 件）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
②卸売業（有効調査数：45 件）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
③小売業（有効調査数：60 件）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
④サービス業（有効調査数：64 件）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
⑤建設業（有効調査数：78 件）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
⑥不動産業（有効調査数：30 件）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23

○本レポート作成の目的

地域の経済・消費動向の現状を把握し、その情報を提供することで小規模事業者が経営方針を明確にし、経営分析および事業計画の策定に有効活用できるようにし、小規模事業者の売上や利益の増進に繋がるなど経営基盤の強化につなげることを目的とします。

○本レポートの作成方法

福崎町商工会の会員事業所に対して「調査票」の記入を依頼、回収したデータを基に他の調査や情報とも比較してレポートを作成します。

Ⅰ．経済動向のポイント

【１】 兵庫県の経済・雇用情勢

① 引き続き厳しい状況にあるものの、全体としては持ち直しの動きとなっている。

有効求人倍率・倒産件数がやや悪化している中で、輸出は増加しており、設備投資も減少計画にはあるものの、堅調である。

② 県内の主要業種は、その他の製造業は好調だが、小売・鉄道・宿泊は依然として厳しい。

その他の製造業では、特に中国はコロナからの回復が早く、売上が昨年度比で大幅に増加している。一方、小売・鉄道・宿泊では業務効率化や新サービスにも取り組んでいる。

③ 各県民局・県民センターを代表する業種には、依然として景況感にばらつきがある。

福崎町を管轄する中播磨県民センターでは、自動車の減産や原料価格の値上がりの中で、特にプラスチック製品製造業が積極的に設備投資を行っており、受注量も堅調である。

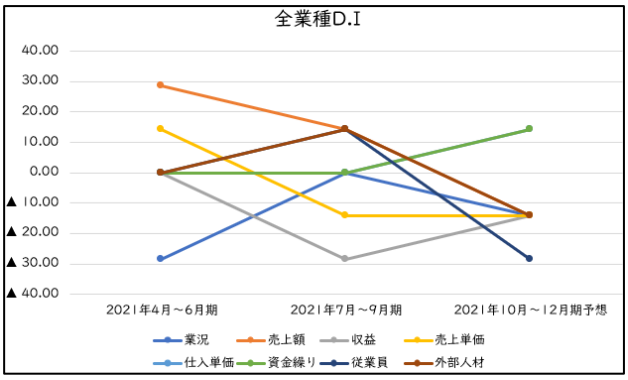
【２】景況調査

① D.I （ディフュージョン・インデ ックス）による分析。

D.I とは景気の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示しており、地域別・業種別の分析指標としている。

② 2021 年７月～９月の全地域の景況感は、上昇傾向にあるが依然として厳しい状況である。

今回は、地域別業況ではなく、全業種 D.I の実績と今後の予想に基づいている。その結果、2021 年 10～12 月期についても、引き続き厳しい状況になる見込みである。



③ 業種毎にばらつきはあるが、概ね改善傾向にある。

但陽信用金庫の取引先全地域の 6 業種（製造業・卸売業・小売業・サービス業・建設業・不動産業）の調査では、2021 年 7 月～9 月期の全地域における業況 D.I 実績では、全ての業種において、前期と比較して概ね改善傾向にある。但し、10 月～12 月期予想では悪化が見込まれる業種（小売業・建設業・不動産業）もある為、予断を許さない。

【３】中小企業診断士からのコメント

岸田政権が発足し、令和 3 年度補正予算の全体像が見えてきた中で、中小企業や小規模事業者への支援策は、概ね継続されている。その為、令和 4 年 4 月以降も引き続き商工会を活用して頂き、経営の持続的な改善や新しいチャレンジにも取り組んで頂きたい。

（令和 3 年 12 月 9 日　中小企業診断士　荒木慎吾氏）

Ⅱ兵庫県の経済・雇用情勢（「兵庫県の経済・雇用情勢」（令和 3 年 10 月 27 日）から引用）

Ⅰ．概況（全体の状況）

本県の経済・雇用情勢は、引き続き厳しい状況にあるものの、全体としては持ち直しの動きとなっている。

景況等…企業の業況判断は、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さが残る。

需 要…個人消費は、一部に弱い動きが続いている。

輸出は、増加している。設備投資は、減少計画にあるものの堅調である。

生 産…生産は、横ばいとなっている。

雇 用…有効求人倍率は、前月を下回った。賃金は弱い動きとなっている。

金 融…倒産件数は、前年を上回った。

主要指標の推移

①景況

現状（良い－悪い）構成比（%ポイント）

区　　分	R2.12 月	R3.3 月	R3.6 月	R3.9 月(現在)	R3.12 月(予測)
全産業	▲19	▲10	▲7	▲2	▲6
大企業	▲9	7	14	15	10
中堅企業	▲17	▲9	▲11	▲1	▲7
中小企業	▲26	▲19	▲16	▲12	▲14
うち製造業	▲23	▲6	▲5	2	▲3
うち非製造業	▲15	▲14	▲10	▲7	▲9

（出所）県内企業短期経済観測調査（日本銀行神戸支店）

②需要

項　　目	R1 年度	R2 年度	R3.5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
商業販売額：億円	17,753	17,960	1,429	1,474	1,605	1,518	－
（前年度比増減率%）	(+0.9)	(＋1.1)	(▲0.5)	(▲4.7)	(+1.2)	(▲6.7)	(－)
（前々年度比増減率%）			(▲1.9)	(+0.5)	(+5.2)	(▲1.1)	(－)
乗用車販売台数：台	167,298	152,809	10,369	12,179	12,152	9,994	10,973
（前年度比増減率%）	(▲5.4)	(▲8.7)	(+58.3)	(+15.3)	(▲5.4)	(▲1.6)	(▲28.6)
（前々年度比増減率%）			(▲20.5)	(▲19.0)	(▲18.7)	(▲20.1)	(▲41.9)
新設住宅着工数：戸	31,567	30,551	2,245	2,597	2,425	2.641	－
（前年度比増減率%）	(▲0.7)	(▲3.2)	(▲1.8)	(▲4.4)	(▲5.1)	(17.4)	(－)
神戸港輸出額：億円	53,652	49,756	4,279	5,312	4,934	4,706	5,010
（前年度比増減率%）	(▲8.4)	(▲8.4)	(+30.7)	(+43.0)	(+20.0)	(+27.3)	(+25.9)

（出所）商業動態統計（経済産業省）、新車登録速報（日本自動車販売協会連合会兵庫県支部）、軽自動車新車届出状況（兵庫県軽自動車協会）、住宅着工統計（国土交通省）、神戸港貿易概況（神戸税関）（商業動態統計調査の前年度比増減率は全店ベース）

項　　目	29 年度	30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度(計画)
設備投資額 前年度比増減率：% (H27 年度比：H27=100)	▲8.1 (114.3)	+0.8 (115.2)	▲1.2 (113.9)	+2.4 (116.6)	▲5.3 (110.4)

（出所）県内企業短期経済観測調査（日本銀行神戸支店）

③生産

項　　目	R1 年度	R2 年度	R3.4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
鉱工業生産指数：H27=100	103.8	93.1	98.6	97.0	97.6	95.3	96.2
（前月比増減率%）	(▲0.1)	(▲10.3)	(▲0.1)	(▲1.6)	(+0.9)	(▲2.7)	(+0.9)

（月次は季節調整値、年度は原指数。年度増減率は前年度比較）　（出所）兵庫県鉱工業指数（県統計課）

④雇用

項　　目	R1 年度	R2 年度	R3.4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
有効求人倍率(季節調整値)：倍	1.38	0.97	0.93	0.94	0.97	0.97	0.94
新規求人数(原数値)：人	33,517	26,815	27,159	23,629	28,328	27,524	25,731
（前年度比増減率%）	(▲6.9)	(▲20.0)	(+13.8)	(+1.3)	(+1.3)	(+7.4)	(+5.5)
現金給与総額：円	312,795	301,652	265,361	263,245	433,412	335,462	253,197
（前年度比増減率%）	(+2.7)	(▲3.6)	(+1.1)	(+1.2)	(+5.2)	(▲1.8)	(+1.2)

（有効求人倍率の年度値は原数値、現金給与総額の年度値は年平均）（出所）一般職業紹介状況(厚生労働省兵庫労働局)、毎月勤労統計調査地方調査(県統計課)

⑤金融

項　　目	R1 年度	R2 年度	R3.5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
企業倒産件数：件	471	396	21	41	32	27	39
（前年度比増減率%）	(+10.3)	(▲15.9)	(+110.0)	(▲16.3)	(▲23.8)	(▲40.0)	(+39.3)
企業倒産負債総額：億円	498	590	27	22	50	49	26
（前年度比増減率%）	(▲13.9)	(+18.5)	(+35.4)	(▲32.5)	(+151.4)	(▲18.0)	(▲80.8)

（出所）兵庫県企業倒産状況（東京商工リサーチ神戸支店）

(参考１)全国景気の現状についての内閣府のコメント

景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、そのテンポが弱まっている。

・個人消費は、弱い動きとなっている。
・設備投資は、持ち直している。
・輸出は、増勢が鈍化している。
・生産は、このところ一部に弱さがみられるものの、持ち直している。
・企業収益は、感染症の影響により、非製造業の一部に弱さが残るものの、持ち直している。企業の業況判 断は、一部に厳しさは残るものの、持ち直しの動きがみられる。
・雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人等の動きに底堅さもみられる。
・消費者物価は、このところ底堅さがみられる。

先行きについては、感染対策を徹底し、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、内外の感染症の動向、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

（令和 3 年 10 月 15 日 内閣府「月例経済報告」）

(参考２)県内景気の現状についての日本銀行神戸支店のコメント

管内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きみられているものの、輸出や生産が牽引するもとで、全体としては持ち直している。

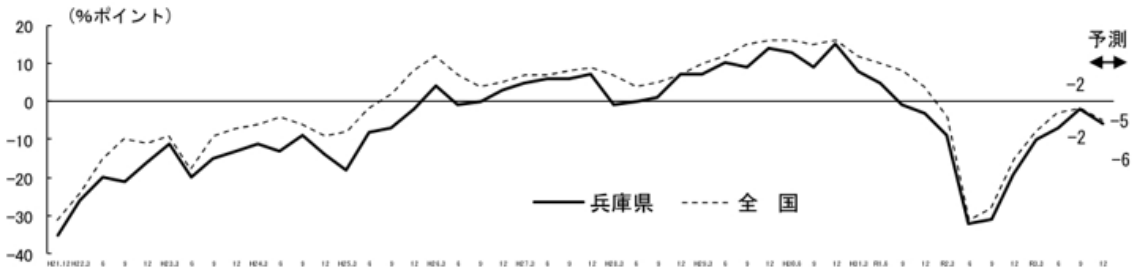
個人消費は、感染症の影響から、持ち直しの動きが一服している。設備投資は、堅調に推移している。住宅投資は、概ね横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は、高水準で推移している。輸出は、増加している。

こうした中、生産は、供給制約の影響を受けつつも、緩やかに増加している。一方、労働需給は、有効求人倍率が１倍を下回るなど、感染症の影響により、緩んでいる。雇用者所得は、弱めの動きとなっている。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を下回って推移している。

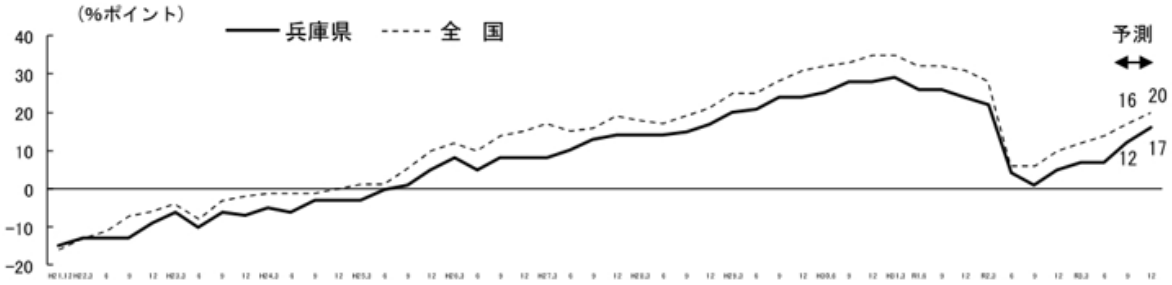
（令和３年 10 月 14 日 日本銀行神戸支店「管内金融経済概況」）

日本銀行神戸支店県内企業短期経済観測調査結果の推移

業況判断ＤＩ（良い－悪いの推移）



雇用人員判断ＤＩ（不足－過剰の推移）

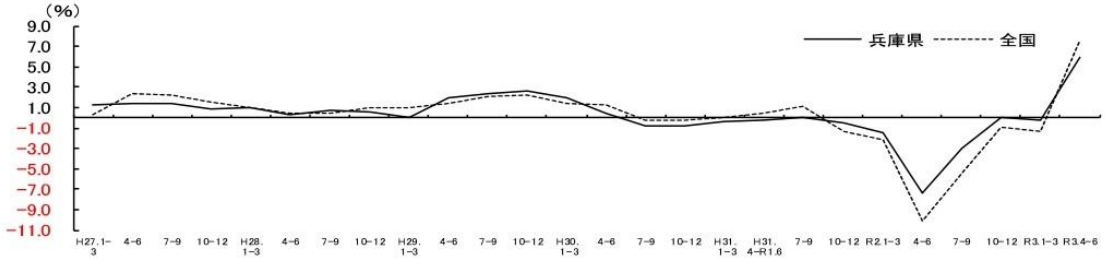


出所：令和３年９月全国・県内企業短期経済観測調査（日本銀行、同神戸支店）

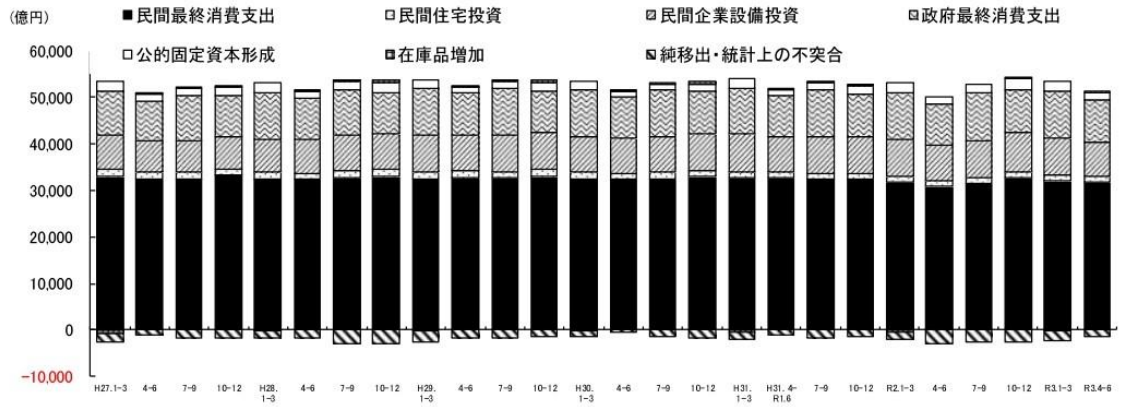
ＧＤＰ

実質ＧＤＰ（R3.4～6 期）は、公的固定資本形成が２期ぶりにプラスに転じ、民間最終消費支出、政府最終消費支出が３期連続でプラスに推移したものの、民間企業設備投資が５期ぶりにマイナスに転じ、民間住宅投資がマイナスで推移した。対前年同期比は 5.9%とプラスとなった。

四半期別ＧＤＰ（実質）増減率



四半期別兵庫県ＧＤＰ（実質）



出所：四半期別ＧＤＰ速報（内閣府）、四半期別県内ＧＤＰ速報（県統計課）

兵庫県・四半期別ＧＤＰ(実質)（億円、増減率％）

	28 年度	29 年度	30 年度	Ｒ１年度	R2 年度
GDP(実質)	202,649	207,107	206,201	204,105	199,667
前年度比	0.4	2.2	▲0.4	▲0.5	▲2.7

	H31.4-R1.6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6
GDP(実質)	50,683	51,590	51,531	51,296	46,928	50,036	51,596	51,175	49,694
前年度比	▲0.3	0.1	▲0.5	▲1.5	▲7.4	▲3.0	0.1	▲0.2	5.9

兵庫県・四半期別ＧＤＰ(名目)（億円、増減率％）

	28 年度	29 年度	30 年度	Ｒ１年度	R2 年度
GDP(名目)	208,926	212,680	211,778	211,679	207,145
前年度比	0.2	1.8	▲0.4	▲0.0	▲2.1

	H31.4-R1.6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6
GDP(名目)	52,745	52,398	54,055	52,515	49,476	51,332	54,200	52,999	51,866
前年度比	0.0	0.6	0.2	▲0.9	▲6.2	▲2.0	0.3	▲0.4	4.8

注１）今後公表される年度確報値とのあいだに若干の差異が生じる場合がある。
また、推計精度をより高めるため、各計数は過去にさかのぼって変更されることがある。
前年度比は原数値の増減を示す。

注２）数値は、平成 23 年基準値となっている。

注３）29 年度までの年度数値は「県民経済計算」（県統計課）

２．県内の主要業種の概況

業 種	概 況
はん用機械製造業	月ごとの売上は季節性があり、夏は閑散期である。年間をとおすと谷になるが、景況感は良くも悪くもない。中国は昨年の伸びが強く、欧米やインドなどは昨年はコロナの影響で売上が落ちたが、コロナ禍からの回復で引き合いがあり、今年は 2 年前に比べると良い。今年度上期（4-9 月）の国内外全体の受注・売上は、前年同期比で５％程度増加見込み。国内の需要急増はない。製品生産に半導体を使用しているので半導体不足の影 響は若干ある。創業が高い水準にあるため、製作現場の人員がやや不足している。
電気機械製造業	電力設備の設置・保守・アフターサービス業務の顧客の設備投資は順調である。海外も含め、製品を納めており、海外渡航ができないため、人員派遣のアフターサービスは 次回に延期するなど、コロナによる影響が出ている。売上・利益は R3.4-9 月(上期)、R3.7-9 月どちらも、前年に比べ低い。コロナの影響ではなく、顧客の投資サイクルの谷間に入っているため。半導体不足で納期に影響が出ている。

その他の製造業	今年上半期(1－6 月)の売上は昨年度比 42%増、利益も増益となっている。海外も全地域で増収増益である。特に中国はコロナからの回復が早く、売上が昨年度比で大幅増、19 年度比でも増えている。国内の戻りは海外のエリアに比べて遅く、在宅勤務の影響で、競技用スポーツの戻りが遅く影響を受けている。海外の生産工場でのコロナの感染拡大が深刻で、工場を閉めており、生産に影響が出ている。年末から年明けにかけて、受注が増えてきており、生産が追いつくか懸念される。
各種商品小売業	景況感はさほど良くない。5 月に比べ 7･8 月はコロナの感染者数が桁違いに増えた影響で消費者も外出自粛したため、イエナカ需要があがり、売上が増加したが、昨年ほどではない。昨年は新型コロナの影響で需要がピークであったため、その反動がきている。宅配事業は前年(4～7 月)比 99.2%とほぼ横ばいであるが、7～8 月は前年を上回っている。宅配事業は件数・売上ともに増えている。在宅勤務や、定時終了など働き方改革の推進に向けた取組をしている。
鉄道業	景況感は悪い。度重なる緊急事態宣言の発令によるものが大きい。通勤定期は 2020 年度からは微増。テレワークなど在宅勤務実施の企業が増え、コロナ前の水準(2019 年度比)には戻らないと考えている。一方通学定期はコロナ前水準近く戻ってきたものの、頭打ちである。7 月の連休や 8 月のお盆期間の利用状況は 2020 年度比では増えているが、2019 年度比では 3～4 割となっている。窓口の営業時間短縮や販売機器の稼働台数精査、利用客の状況に合わせ、ダイヤ改正の実施を前倒しした。
宿泊業	昨年春から厳しい状況である。GW は例年なら満室だが、3～4 割の稼働率であった。7 月の連休までは稼働率 6～7 割を維持していたが、8 月のまん延防止措置でまた悪化し、お盆の稼働率は 3～4 割であった。9 月の連休の予約状況は 3 割までで、それ以外は 20%以下である。例年にない特徴として、学生の合宿や修学旅行の利用が増えている。従来は価格的な面で研修センターや旅館などの大部屋を利用していたが、密を避けるためホテル利用のニーズが増えている。また、家族の夕食付きプランのルームサービス利用が増えている。

令和 3 年 9 月 兵庫県産業労働部調査

３．地域の概況

地 域	業 種	概 況
神 戸	食料品製造業	2021 年 1-6 月の出荷量は前年同期並だが、一昨年の同期と比較すると 1 割超の減少である。都市部では緊急事態宣言とまん延防止等重点措置により業務用需要が見込めず、景況感は悪い。消費者向け需要は好調であるが、単価の高い業務用の減少分をカバーするには至っていない。緊急事態宣言が解除された時期は売上が増加することから、この先の業況は新型コロナ感染症の発生状況次第である。

		オンラインイベントの実施やネット販売を強化し、販売チャネルの強化を図る。
	食料品製造業	新型コロナ以降、当業界では店舗の立地状況により好不調が大きく分かれている。 駅ナカ店舗の不調、住宅街にある店舗の健闘、オンラインショップの好調という傾向が続いており、景況感はどちらとも言えない。 売上はコロナ前の水準を確保しているが、原材料費や人件費などの製造コスト上昇や新型コロナウイルス感染症対策費により利益が減少している。このため、製造機械の更新時は、業務効率が上がることを重視した選択を行うこととしている。
阪神南	飲料・たばこ・飼料製造業	4 回目となる 7 月の緊急事態宣言後、飲食店向けの受注は、現時点で前年の 40%程度になっている。解除後は受注が見込まれるが、飲食店の動向は、資金繰難により閉店に追い込まれる飲食店と、店舗賃料が下がっている中、新規オープンを狙っている飲食店オーナーもいると考えられる。海外向けは 4～8 月は前年比 247%、前々年比 109%であるが、船舶が取れず受注が入るが出荷できない状況である。特にアメリカの東海岸が酷く西海岸から陸路で届けることも行うが、陸路も滞っている。また、船舶代金が以前の 3 倍ほどに上がっている。
	はん用機械器具製造業	顧客の鉄鋼業界関連については全体的に収益が悪化しており、製造設備の集約・再 編が行われている。また、カーボンニュートラルへの対応も迫られている。電力業界 関連では環境問題に対して、再生可能エネルギーへのシフトが世界的に進んでおり、 火力発電所等設備関連の受注は厳しい状況となっている。中国関連会社については、 技術指導でやりにくい面はあるが現在支障はない。 海外企業への取引状況は、訪問できないため営業活動に支障をきたしている。
阪神北	繊維工業	コロナの影響による半導体不足で車用途の受注減少、展示会用途のカーペットの受注が 2020 年春頃からほとんどストップ状況。2019 年度と比べて 2021 年度の今季年間見通しとして売上は 15%程度減少。カーペットは展示会用途の回復が全く見込めない。車用途は半導体不足が落ち着けば回復するのではと考えている。様々な工業資材において各産業が落ち込んでおり、まだ回復の見込みはない状況にある。
	各種商品小売業	7 月はまん延防止等重点措置解除後、堅調なデイリーゾーンに加え、デリカ、和洋菓子ゾーンも前々年並みに復調。全年齢層で前年を上回る中、特にワクチン接種が進んだ世

		代の来店日数が増加した。フードではオリンピック開催を踏まえ諸国の美味しいもの特集等が好調、また、夏休みの帰省需要で子供服も伸張した。8 月に入り、前半の猛暑や中旬の大雨等天候が安定しない中、ファッションの夏アイ テムは苦戦をしたが食品ギフトバーゲンやワコールバザール等催事が売上を牽引した。8 月 20 日～緊急事態宣言発出後は入店が減少。売上は、7 月は前年比約 7%、8 月は 前年比約 8%プラスだった。
東播磨	化学工業	景況感はさほど良くない。昨年同時期に比べて売上高が増加している一方で、原材 料価格の高騰により利益は減少している。 新型コロナウイルス感染症については、感染予防や拡大防止対策を実施しており、生産調整等の影響は受けていない。需要が増加している部門で製造ラインの増設を行っており、来年度から稼働予定と なっている。
	鉄鋼業	景況感はさほど良くないが、自動車需要の回復やコスト削減により半年前より売 上は増加している。 世界的な需給バランスや貿易状況等により乱高下を繰り返している原材料価格に マイナスの影響を受けており、今後の動向を注視している。当社の業績は自動車産業の動向に影響を受けるが、自動車の生産が回復基調と なっているものの、半導体不足や新型コロナウイルスの感染状況に左右されるおそれがあるため、今後の先行きは不透明である。
北播磨	金属製品製造業	今の景況状況は、悪い状況である。コロナ禍の密をさけるためアウトドアブームと言われているが、海外向けの売上が 8 割を占めているため、厳しい状況が続いている。 3 ヶ月前や 1 年前を比較しても悪い状況が続いている。原材料の鉄鋼等が高騰しており、さらに厳しい状況に拍車を掛けている。設備投資は、このような状況であるため 機械設備の改修に留まっている。製造部門で人員が不足しており、求人しているにもかかわらず応募は無い状況。
	繊維製品製造販売業	今の景況感は、さほど良くない状況である。3 ヶ月前も悪い状況で、変化はしてない。また 1 年前と比較して 10%程度の売上・利益の増加は見られるが、回復にはまだ時間がかかると心配している。アパレル業界自体が落ち込んでいるため、その材料の繊維製品に対する発注も大幅に減少し厳しい状況が続いている。ネットでの販売にも取り組んでいるが、あまり伸びていない。緊急事態宣言が解除になれば、今まで自粛していた展示会等を実施して積極的に販路拡大に取り組む予定である。

中播磨	プラスチック製品製造業	東南アジアでは、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、半導体やその他自動車 関連部品の供給に大きな支障が生じており、国内自動車の生産台数は大幅に減産する見通しとなった。それにより製品の出荷量に影響が及び、前期比では、売上利益とも減少した。一方で、自動車の電動化への移行が進まず生産ラインの稼働率が低下していたが、電動化へ移行するまでの間ハイブリッドが主流となることを見据え、製造ラインの新設、省エネ設備等への切り替えを行い、新たなモーターの製造を開始しており、受注量は堅調に推移する見込みである。
	化学工業	主要製品（吸水性樹脂等）の売上高は前年同期において大きな悪化はないものの、中国市場では、おむつ原料のひとつであるパルプの値上りが懸念され、原料を確保する動きが急激に加速、原材料価格が高騰したことにより減益となった。 しかし、吸水性樹脂は製品面では、日用品用途が多く、新型コロナ感染症に影響されず需要は旺盛ではあり、今年度の販売自体は当初計画に大幅な誤差はなく、生産もフル操業を継続している。 早期に価格転嫁を実施することにより利益の確保に努めたい。
西播磨	食料品製造業	景況感はさほど悪くない。特に個人消費者向けをメインとしている商品等が多いため(一部業者向け卸し等もあるが)コロナの影響で売上が激減までには至らない。売上、利益ともに 9 月は一昨年同期並みに戻っている。原材料価格が全て値上がりしている 状況のため、マイナスの影響が出てきているが、解消できるよう課題検討が必要である。雇用人員については正規職員については適正であるが、製造の惣菜部門の人員については時期によっては人材(パートや中途採用）不足のため求人募集を行なっている。
	金融業	当金融機関、管内中小企業ともに景況感はさほど良くない。昨年度末まではゼロゼロ融資の利用が多かったが、今年度は融資利用はかなり減少している。設備投資についても昨年より減少している。昨年はキャッシュレスの影響で件数が伸びていた様子。今期もコロナの影響のため先行きが不透明なため、投資もあまり伸びていない。管内の雇用人員は全体的に不足している状況。今後、地元企業への支援メニュー等で地域の活性化を図る。
但馬	印刷・同関連業	景況感は悪い。7.8.9 月の全体の売上は前年度比で 3%減少。印刷業界の売上としては、コロナ禍により 1～2 割落ち込む。アクリル事業等、印刷業の関連事業に力を入れる。水族館や動物園のお土産品の売上は、例年 1 億円だが、7000

		万円に落ち込む。コロナ禍が落ち着くまでは、大卒を育てる余裕がない。新卒採用では、高校生のみを募集する。中途採用では、即戦力となる、同じ職種から転職する人材を求める。
	宿　泊　業	景況感は悪い。昨年のGoToトラベルの影響を受け、7.8.9月の全体の売上は前年度比で 70%減少。11 月から 3 月はカニのシーズンであることや、ワクチン接種が進んでいることを踏まえ、3 か月後の景況感は、現在より良くなると予想。コロナ禍により、2 週間前から当日の予約が増えている。今後は客単価を上げることを検討中。当地域 では、社員の解雇や廃業に追い込まれた旅館はない。地域全体で実施している外国人学生の受け入れが実施できず、人材不足を懸念している。
丹 波	観光サービス業	景況感は悪い。観光客は皆無ではないが、GoTo キャンペーンのような人出もなく、例年を下回る売上げとなっている。今期（7-9 月）の売上高・利益の見通しは、前期 と比較して売上高は約 20%減少、利益は約 15%減少、前年同期と比較して、売上高は約 30%減少、利益は約 20%減少する見込み。今期（7-9 月）の受注・需要状況は前期 と比較して約 15%減少、前年同期と比較して約 20%減少する見込み。客単価は、GoTo キャンペーン時には上がったが、現在は減少傾向で、このままでは売上は伸びず固定費負担のみが大きくなり、雇用の継続は大変難しい状況に陥っていく。
	機械器具小売業	全体の景況感としてはさほど良くない。昨年は一昨年を約 10～20%下回る売上げとなった。コロナ禍の影響持続により今期（7-9 月）は売上・収益・受注とも前期、前年同期と比べて 10～20%減少する見込み。秋から年末に向かっては多少持ち直しの期待感があり、コロナの状況が現状のままで推移するならば、来店客は昨秋ほどにも落ち込まず、売上は例年並みを確保できるとみており、現時点では例年と変わらない経営環境にある。コロナの感染予防や従業員の健康管理には顧客への対応とともに最大の注意を払っている。
淡 路	宿　泊　業	今年 4 月に料金の値上改定を行ったものの、緊急事態宣言が再発令され、8 月の売上は昨年同月比 20%減、一昨年同月比 40%減である。併設するキャンプ場は、コロナ禍やアウトドア人気もあり 8 月の稼働率が平均 70%と好調を維持しているが、宿泊では修学旅行で約 1,000 人など 9 月以降のキャンセルが相次いでおり、今後の見通しも良く

		ない。しかし、アフターコロナを見据え、勤務調整などによる雇用維持や若干名ではあるが新規採用するなど人員確保に努めている。
	宿　　泊　　業	7-9 月の売上は 4-6 月と比べ 80%増と改善しているものの、客室稼働率は緊急事態 宣言の再発令によるキャンセルもあり、昨年同期比 30%減、特に 8 月以降は昨年の 50%減となっており景況感は悪い。また、婚礼や宴会などの団体客はコロナ禍以降、ほぼ 利用がない状況が続いている。今後もコロナの感染状況に大きく影響されることから、状況を注視しつつ雇用の維持、コストコントロールなどによる収益改善に取り組む。

令和 3 年 9 月 県民局・県民センター調査

Ⅲ．景況調査

Ⅰ．景況調査について

○『D.I（ディフュージョン・インデックス)』による分析

D.I. とは、景気の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示します。右の表の場合、「良い」20%－「悪い」30%＝－10%となり、D.I.値は－10 ポイントと示すことができます。

業況	件数	構成比
良い	10 件	20%
不変	25 件	50%
悪い	15 件	30%
合計	50 件	100%

○引用する調査書と有効回答数について

本レポートの作成にあたり、但陽信用金庫が四半期毎に実施する「景気動向調査」の調査結果を引用しています。

（対象期間内における有効回答数）

	エリア	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
景気動向調査 （但陽信用金庫）	取引先全地域	439 件					
中小企業景況調査 （福崎町商工会）	－	1 件	0 件	2 件	3 件	1 件	0 件

○業種の分類について

本レポートでは、飲食・宿泊業は「サービス業」とあわせて集計しています。

《福崎町商工会》

（全業種）	2021 年 4 月～6 月期	2021 年 7 月～9 月期	2021 年 10 月～12 月期予想
業　　況	▲28.57	0.00	▲14.29
売 上 額	28.57	14.29	▲14.29
収　　益	0.00	▲28.57	▲14.29
売上単価	14.29	▲14.29	▲14.29
仕入単価	0.00	0.00	14.29
資金繰り	0.00	0.00	14.29
従 業 員	0.00	14.29	▲28.57
外部人材	0.00	14.29	▲14.29

[2021 年 7～9 月期]：上昇傾向にあるが依然厳しい状況

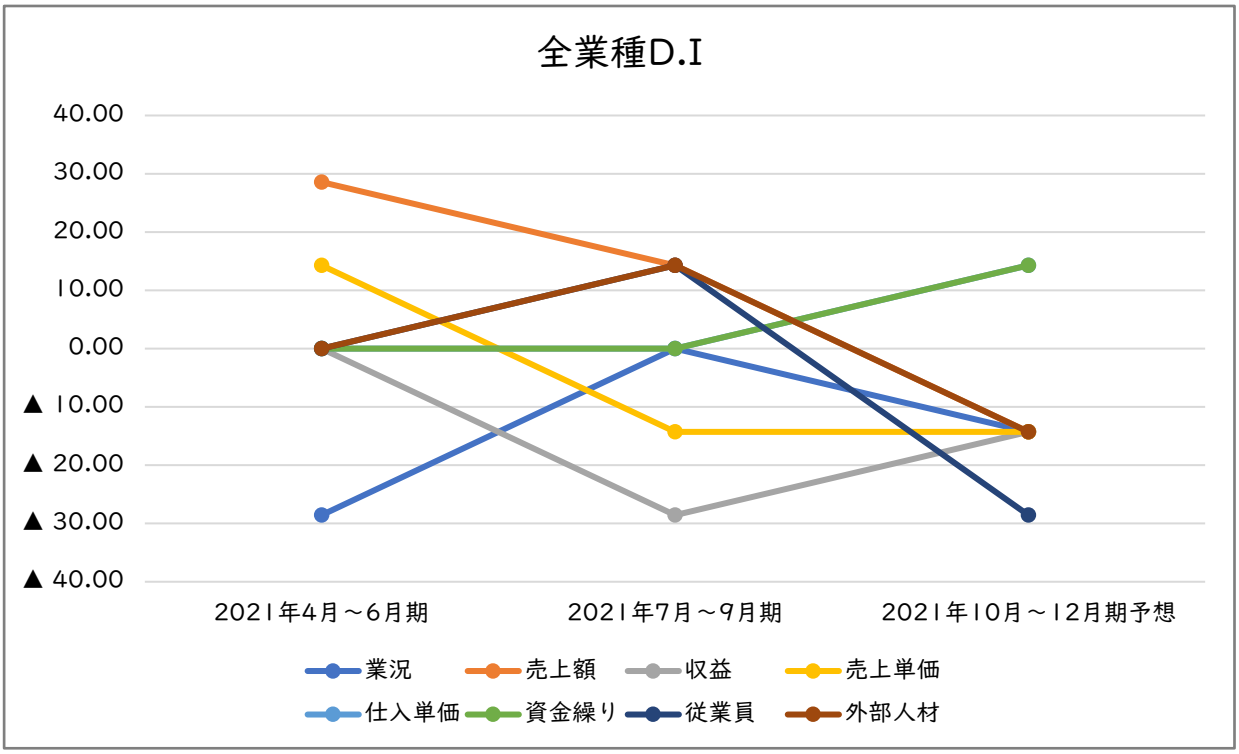
当期の業況 D.I は 0%ポイントとなり、前期から 28.57 ポイント上昇しました。

また、従業員に関する D.I が上昇と好調な状況、一方で収益に関する D.I は下降しました。

[2021 年 10～12 月期]：依然厳しい状況

来期の予想業況 D.I は▲14.29 で、下降予想です。以前厳しい業況の予想です。

売上額・従業員・外部人材に関する D.I が下降し、D.I が低下する予想です。



2．業種ごとの集計《但陽信用金庫》

（１）製造業

製 造 業

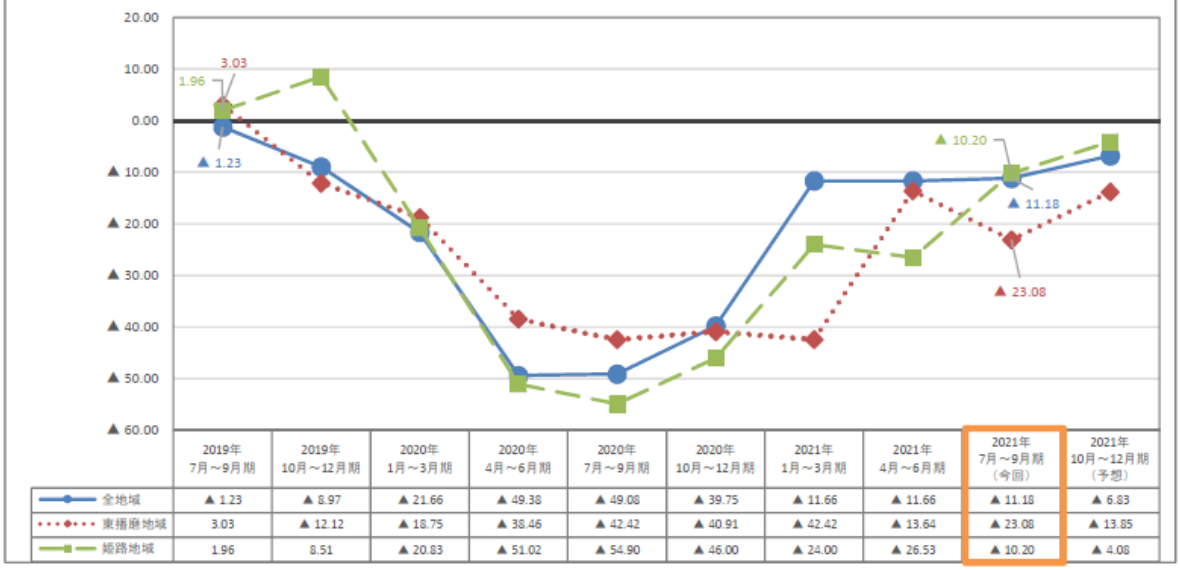
（回答企業 162社）（回答率 98.78%）

“よろず相談所” 但陽信用金庫

地域別業況D.I.

・・・

全地域の業況D.I.は▲11.18と、前期から0.48ポイント改善しています。東播磨地域は▲23.08と9.44ポイント低下し、姫路地域では▲10.20と16.33ポイント改善となっています。

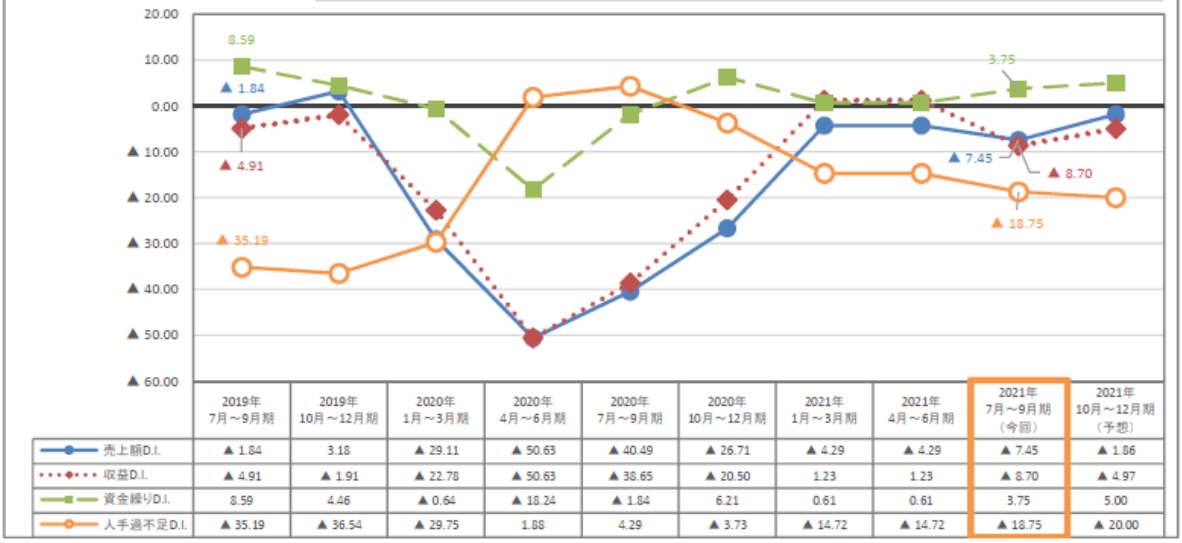


	2019年 7月～9月期	2019年 10月～12月期	2020年 1月～3月期	2020年 4月～6月期	2020年 7月～9月期	2020年 10月～12月期	2021年 1月～3月期	2021年 4月～6月期	2021年 7月～9月期（今回）	2021年 10月～12月期（予想）
全地域	▲ 1.23	▲ 8.97	▲ 21.66	▲ 49.38	▲ 49.08	▲ 39.75	▲ 11.66	▲ 11.66	▲ 11.18	▲ 6.83
東播磨地域	3.03	▲ 12.12	▲ 18.75	▲ 38.46	▲ 42.42	▲ 40.91	▲ 42.42	▲ 13.64	▲ 23.08	▲ 13.85
姫路地域	1.96	8.51	▲ 20.83	▲ 51.02	▲ 54.90	▲ 46.00	▲ 24.00	▲ 26.53	▲ 10.20	▲ 4.08

その他主要D.I.

・・・

売上額D.I.・収益D.I.・人手過不足D.I.は前期から悪化しています。資金繰りD.I.は3.75と3.14ポイント上昇し、今期・来期予想共にプラス域になっています。



	2019年 7月～9月期	2019年 10月～12月期	2020年 1月～3月期	2020年 4月～6月期	2020年 7月～9月期	2020年 10月～12月期	2021年 1月～3月期	2021年 4月～6月期	2021年 7月～9月期（今回）	2021年 10月～12月期（予想）
売上額D.I.	▲ 1.84	3.18	▲ 29.11	▲ 50.63	▲ 40.49	▲ 26.71	▲ 4.29	▲ 4.29	▲ 7.45	▲ 1.86
収益D.I.	▲ 4.91	▲ 1.91	▲ 22.78	▲ 50.63	▲ 38.65	▲ 20.50	1.23	1.23	▲ 8.70	▲ 4.97
資金繰りD.I.	8.59	4.46	▲ 0.64	▲ 18.24	▲ 1.84	6.21	0.61	0.61	3.75	5.00
人手過不足D.I.	▲ 35.19	▲ 36.54	▲ 29.75	1.88	4.29	▲ 3.73	▲ 14.72	▲ 14.72	▲ 18.75	▲ 20.00

（２）卸売業

卸 売 業

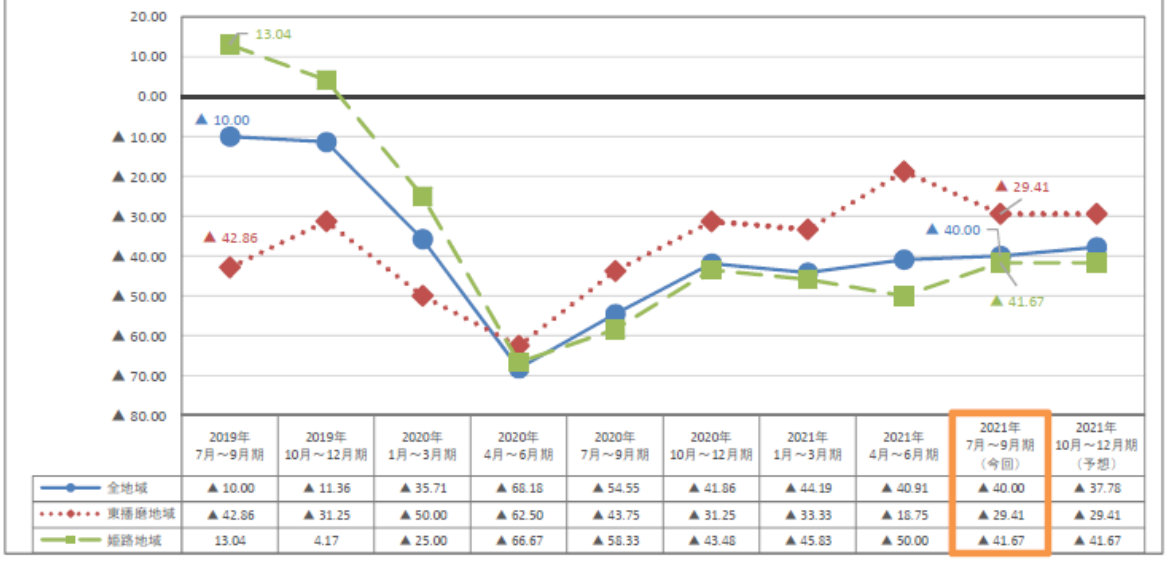
（回答企業 45社）（回答率 100.00%）

“よろず相談所” 但陽信用金庫

地域別業況D.I.

…

全地域の業況D.I.は▲40.00と、前期から0.91ポイント改善しています。東播磨地域は▲29.41と10.66ポイント低下、姫路地域は▲41.67と8.33ポイントの改善となっています。来期は全地域で若干の改善、東播磨地域・姫路地域では横ばいの予想になっています。

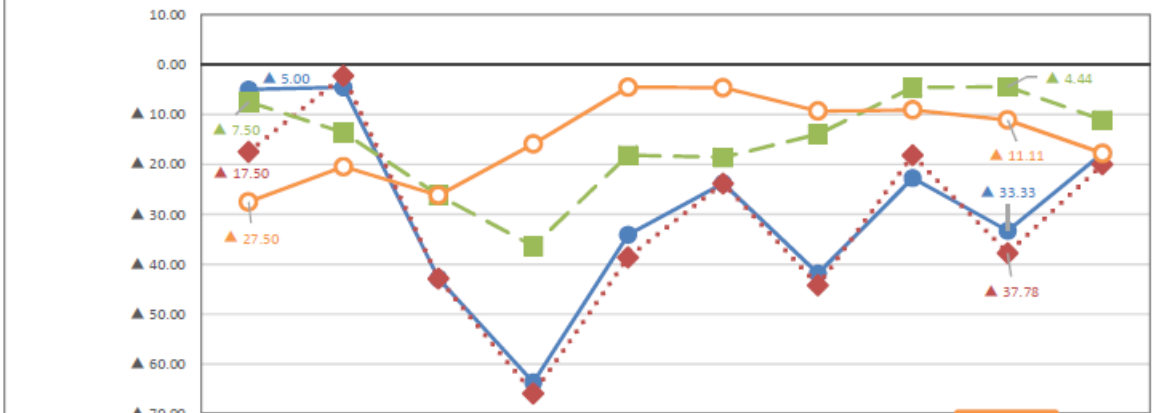


	2019年 7月～9月期	2019年 10月～12月期	2020年 1月～3月期	2020年 4月～6月期	2020年 7月～9月期	2020年 10月～12月期	2021年 1月～3月期	2021年 4月～6月期	2021年 7月～9月期（今回）	2021年 10月～12月期（予想）
全地域	▲ 10.00	▲ 11.36	▲ 35.71	▲ 68.18	▲ 54.55	▲ 41.86	▲ 44.19	▲ 40.91	▲ 40.00	▲ 37.78
東播磨地域	▲ 42.86	▲ 31.25	▲ 50.00	▲ 62.50	▲ 43.75	▲ 31.25	▲ 33.33	▲ 18.75	▲ 29.41	▲ 29.41
姫路地域	13.04	4.17	▲ 25.00	▲ 66.67	▲ 58.33	▲ 43.48	▲ 45.83	▲ 50.00	▲ 41.67	▲ 41.67

その他主要D.I.

…

売上額D.I.・収益D.I.・人手過不足D.I.は前期から低下し、資金繰りD.I.は若干改善しています。来期は売上額D.I.・収益D.I.は改善、資金繰りD.I.・人手過不足D.I.は低下の予想になっています。



	2019年 7月～9月期	2019年 10月～12月期	2020年 1月～3月期	2020年 4月～6月期	2020年 7月～9月期	2020年 10月～12月期	2021年 1月～3月期	2021年 4月～6月期	2021年 7月～9月期（今回）	2021年 10月～12月期（予想）
売上額D.I.	▲ 5.00	▲ 4.55	▲ 42.86	▲ 63.64	▲ 34.09	▲ 23.81	▲ 41.86	▲ 22.73	▲ 33.33	▲ 17.78
収益D.I.	▲ 17.50	▲ 2.27	▲ 42.86	▲ 65.91	▲ 38.64	▲ 23.81	▲ 44.19	▲ 18.18	▲ 37.78	▲ 20.00
資金繰りD.I.	▲ 7.50	▲ 13.64	▲ 26.19	▲ 36.36	▲ 18.18	▲ 18.60	▲ 13.95	▲ 4.55	▲ 4.44	▲ 11.11
人手過不足D.I.	▲ 27.50	▲ 20.45	▲ 26.19	▲ 15.91	▲ 4.55	▲ 4.65	▲ 9.30	▲ 9.09	▲ 11.11	▲ 17.78

（３）小売業

小 売 業

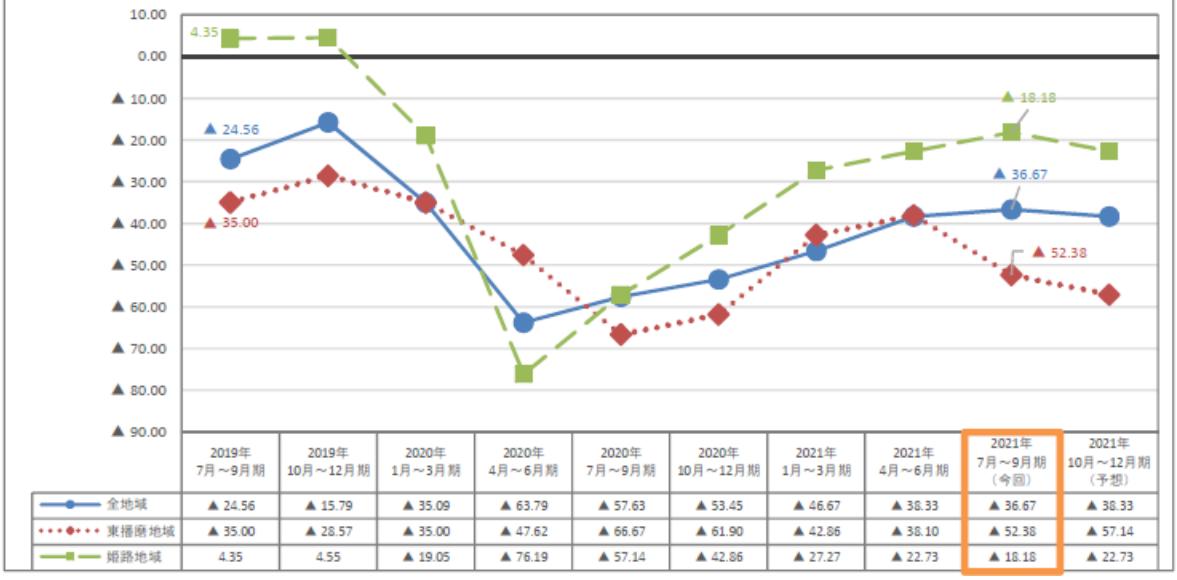
（回答企業 60社）（回答率 100.00%）

“よろず相談所” 但陽信用金庫

地域別業況D.I.

…

全地域の業況D.I.は▲36.67と、前期から1.66ポイント改善しています。東播磨地域は▲52.38と14.28ポイント低下しています。姫路地域は▲18.18と4.55ポイント改善となっています。来期は全地域・地域別でマイナスの予想になっています。

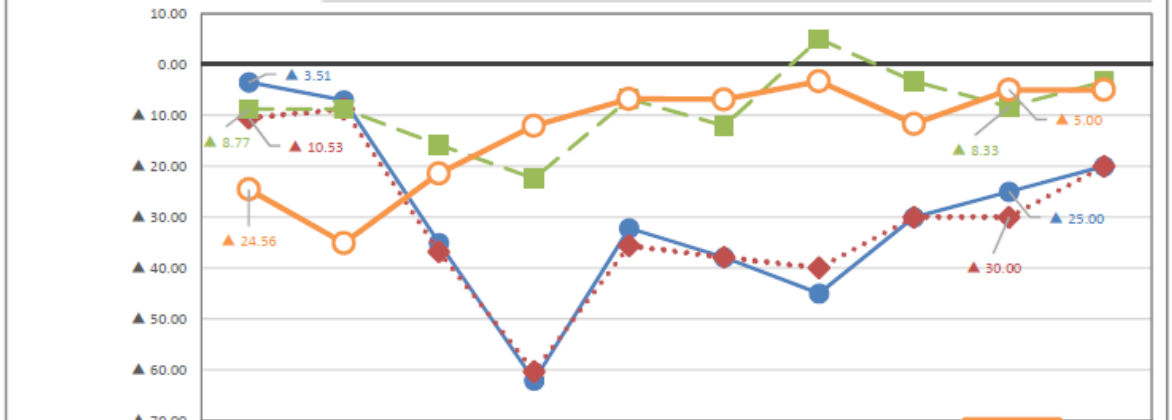


	2019年 7月～9月期	2019年 10月～12月期	2020年 1月～3月期	2020年 4月～6月期	2020年 7月～9月期	2020年 10月～12月期	2021年 1月～3月期	2021年 4月～6月期	2021年 7月～9月期（今回）	2021年 10月～12月期（予想）
全地域	▲ 24.56	▲ 15.79	▲ 35.09	▲ 63.79	▲ 57.63	▲ 53.45	▲ 46.67	▲ 38.33	▲ 36.67	▲ 38.33
東播磨地域	▲ 35.00	▲ 28.57	▲ 35.00	▲ 47.62	▲ 66.67	▲ 61.90	▲ 42.86	▲ 38.10	▲ 52.38	▲ 57.14
姫路地域	4.35	4.55	▲ 19.05	▲ 76.19	▲ 57.14	▲ 42.86	▲ 27.27	▲ 22.73	▲ 18.18	▲ 22.73

その他主要D.I.

…

売上額D.I.・人手過不足D.I.は前期から若干の改善、収益D.I.は横ばい、資金繰りD.I.は低下しています。来期は売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.は改善、人手過不足D.I.は横ばいの予想になっています。



	2019年 7月～9月期	2019年 10月～12月期	2020年 1月～3月期	2020年 4月～6月期	2020年 7月～9月期	2020年 10月～12月期	2021年 1月～3月期	2021年 4月～6月期	2021年 7月～9月期（今回）	2021年 10月～12月期（予想）
売上額D.I.	▲ 3.51	▲ 7.02	▲ 35.09	▲ 62.07	▲ 32.20	▲ 37.93	▲ 45.00	▲ 30.00	▲ 25.00	▲ 20.00
収益D.I.	▲ 10.53	▲ 8.77	▲ 36.84	▲ 60.34	▲ 35.59	▲ 37.93	▲ 40.00	▲ 30.00	▲ 30.00	▲ 20.00
資金繰りD.I.	▲ 8.77	▲ 8.77	▲ 15.79	▲ 22.41	▲ 6.78	▲ 12.07	5.00	▲ 3.33	▲ 8.33	▲ 3.33
人手過不足D.I.	▲ 24.56	▲ 35.09	▲ 21.43	▲ 12.07	▲ 6.78	▲ 6.90	▲ 3.33	▲ 11.67	▲ 5.00	▲ 5.00

（４）サービス業

サービス業

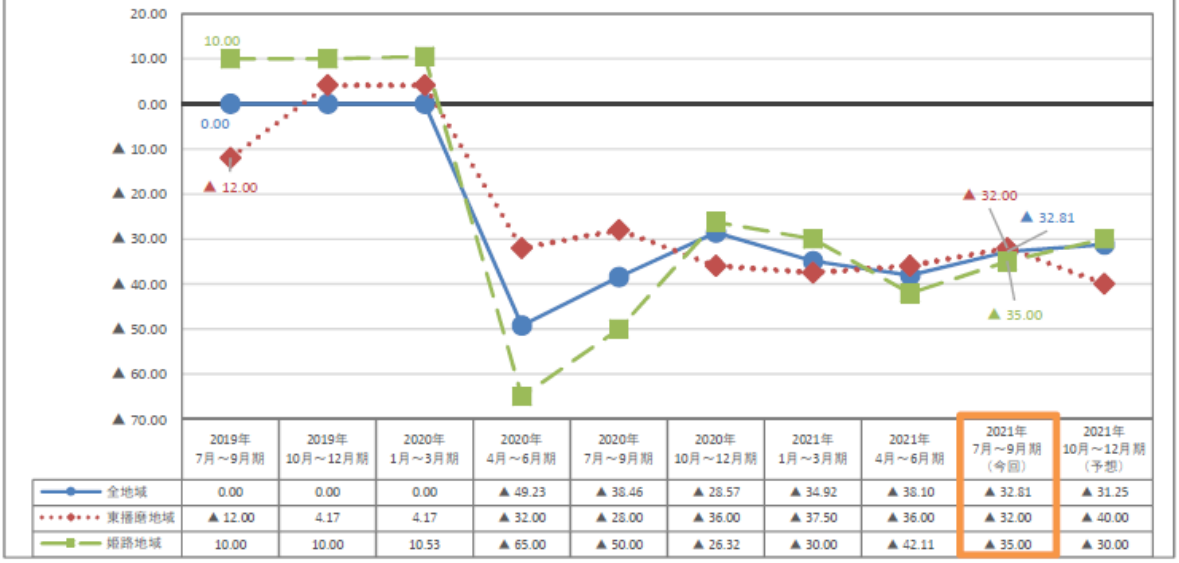
（回答企業 64社）（回答率　98.46%）

“よろず相談所” 但陽信用金庫

地域別業況D.I.

・・・

全地域の業況D.I.は▲32.81と、前期から5.29ポイント改善しています。東播磨地域は▲32.00と4.00ポイント改善し、姫路地域でも▲35.00と7.11ポイント改善となっています。

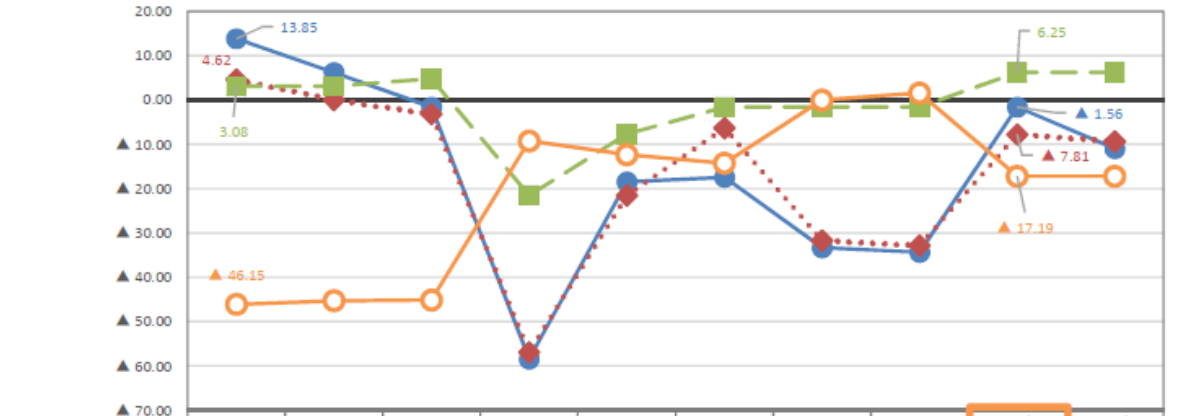


	2019年 7月～9月期	2019年 10月～12月期	2020年 1月～3月期	2020年 4月～6月期	2020年 7月～9月期	2020年 10月～12月期	2021年 1月～3月期	2021年 4月～6月期	2021年 7月～9月期（今回）	2021年 10月～12月期（予想）
全地域	0.00	0.00	0.00	▲ 49.23	▲ 38.46	▲ 28.57	▲ 34.92	▲ 38.10	▲ 32.81	▲ 31.25
東播磨地域	▲ 12.00	4.17	4.17	▲ 32.00	▲ 28.00	▲ 36.00	▲ 37.50	▲ 36.00	▲ 32.00	▲ 40.00
姫路地域	10.00	10.00	10.53	▲ 65.00	▲ 50.00	▲ 26.32	▲ 30.00	▲ 42.11	▲ 35.00	▲ 30.00

その他主要D.I.

・・・

売上額D.I.・収益D.I.は前期から大幅に改善していますが、来期は共に悪化の予想となり、資金繰りD.I.は今期・来期予想共にプラス域になっています。人手過不足D.I.は前期の1.56から▲17.19のマイナス域になり、来期も横ばいの予想になっています。



	2019年 7月～9月期	2019年 10月～12月期	2020年 1月～3月期	2020年 4月～6月期	2020年 7月～9月期	2020年 10月～12月期	2021年 1月～3月期	2021年 4月～6月期	2021年 7月～9月期（今回）	2021年 10月～12月期（予想）
売上額D.I.	13.85	6.25	▲ 1.61	▲ 58.46	▲ 18.46	▲ 17.46	▲ 33.33	▲ 34.38	▲ 1.56	▲ 10.94
収益D.I.	4.62	0.00	▲ 3.23	▲ 56.92	▲ 21.54	▲ 6.35	▲ 31.75	▲ 32.81	▲ 7.81	▲ 9.38
資金繰りD.I.	3.08	3.13	4.84	▲ 21.54	▲ 7.69	▲ 1.59	▲ 1.59	▲ 1.56	6.25	6.25
人手過不足D.I.	▲ 46.15	▲ 45.31	▲ 45.16	▲ 9.23	▲ 12.31	▲ 14.29	0.00	1.56	▲ 17.19	▲ 17.19

（５）建設業

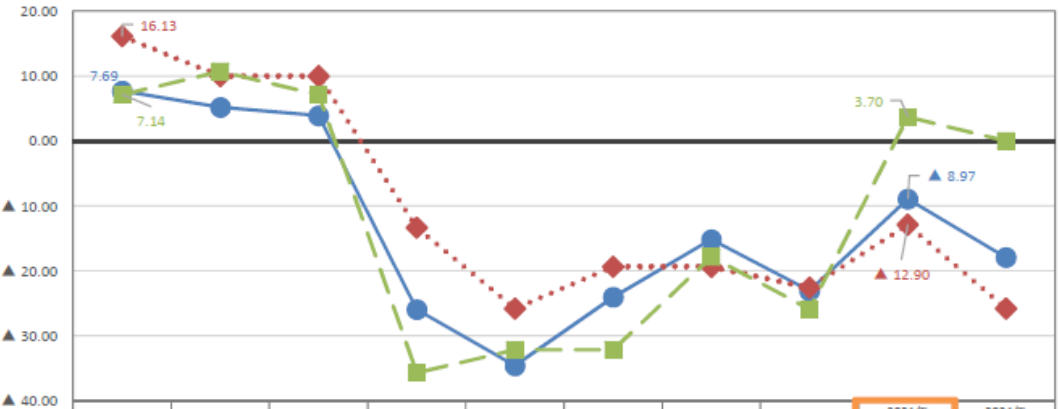
建 設 業

（回答企業 78社）（回答率 100.00%）

“よろず相談所” 但陽信用金庫

地域別業況D.I. ・・・

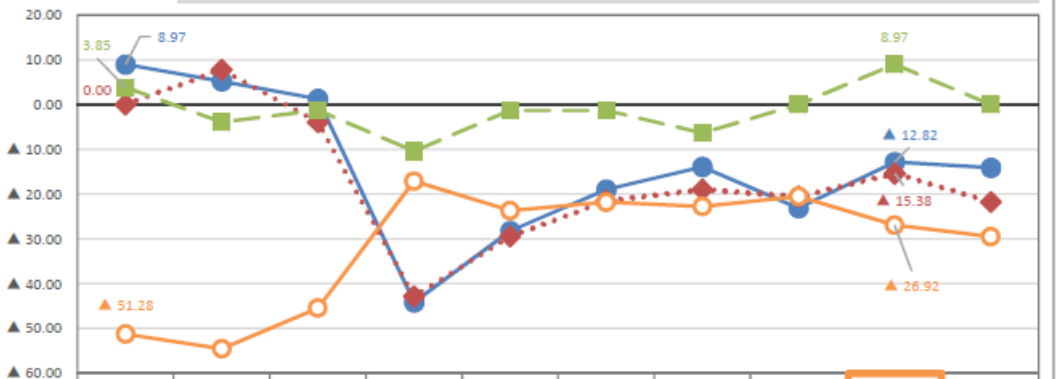
全地域の業況D.I.は▲8.97と、前期から14.11ポイント改善しています。東播磨地域は▲12.90と9.68ポイントの改善、姫路地域は前期から29.63ポイントの改善で3.70とし、プラス域になりました。来期は全地域・地域別で低下の予想となっています。



	2019年 7月～9月期	2019年 10月～12月期	2020年 1月～3月期	2020年 4月～6月期	2020年 7月～9月期	2020年 10月～12月期	2021年 1月～3月期	2021年 4月～6月期	2021年 7月～9月期（今回）	2021年 10月～12月期（予想）
全地域	7.69	5.19	3.90	▲ 25.97	▲ 34.62	▲ 24.05	▲ 15.19	▲ 23.08	▲ 8.97	▲ 17.95
東播磨地域	16.13	10.00	10.00	▲ 13.33	▲ 25.81	▲ 19.35	▲ 19.35	▲ 22.58	▲ 12.90	▲ 25.81
姫路地域	7.14	10.71	7.14	▲ 35.71	▲ 32.14	▲ 32.14	▲ 17.86	▲ 25.93	3.70	0.00

その他主要D.I. ・・・

売上額D.I.・収益D.I.は前期から改善し、資金繰りD.I.は今期もプラス域になっています。今期は人手過不足D.I.のみ低下となりました。来期は主要D.I.すべてが低下する予想となっているものの、資金繰りD.I.は継続してプラス域となっています。



	2019年 7月～9月期	2019年 10月～12月期	2020年 1月～3月期	2020年 4月～6月期	2020年 7月～9月期	2020年 10月～12月期	2021年 1月～3月期	2021年 4月～6月期	2021年 7月～9月期（今回）	2021年 10月～12月期（予想）
売上額D.I.	8.97	5.19	1.30	▲ 44.16	▲ 28.21	▲ 18.99	▲ 13.92	▲ 23.08	▲ 12.82	▲ 14.10
収益D.I.	0.00	7.79	▲ 3.90	▲ 42.86	▲ 29.49	▲ 21.52	▲ 18.99	▲ 20.51	▲ 15.38	▲ 21.79
資金繰りD.I.	3.85	▲ 3.90	▲ 1.30	▲ 10.39	▲ 1.28	▲ 1.27	▲ 6.33	0.00	8.97	0.00
人手過不足D.I.	▲ 51.28	▲ 54.55	▲ 45.45	▲ 17.11	▲ 23.68	▲ 21.79	▲ 22.78	▲ 20.51	▲ 26.92	▲ 29.49

（６）不動産業

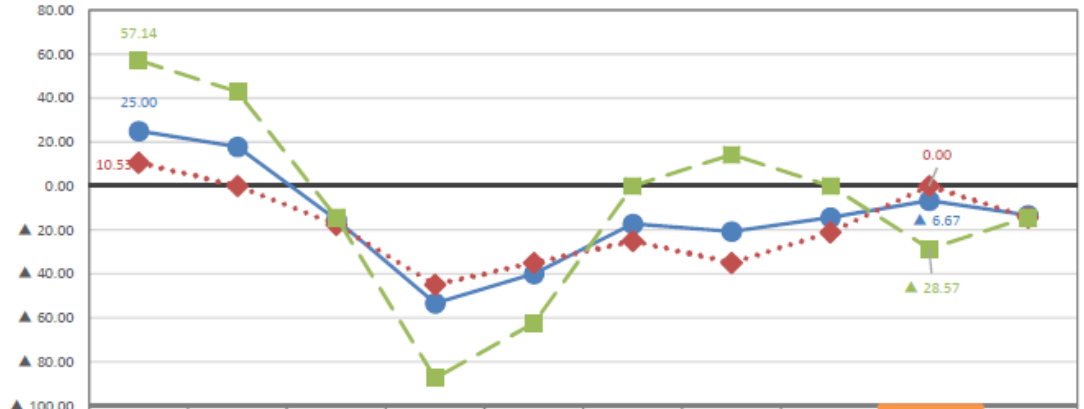
不動産業

（回答企業　30社）（回答率 100.00%）

“よろず相談所” 但陽信用金庫

地域別業況D.I.

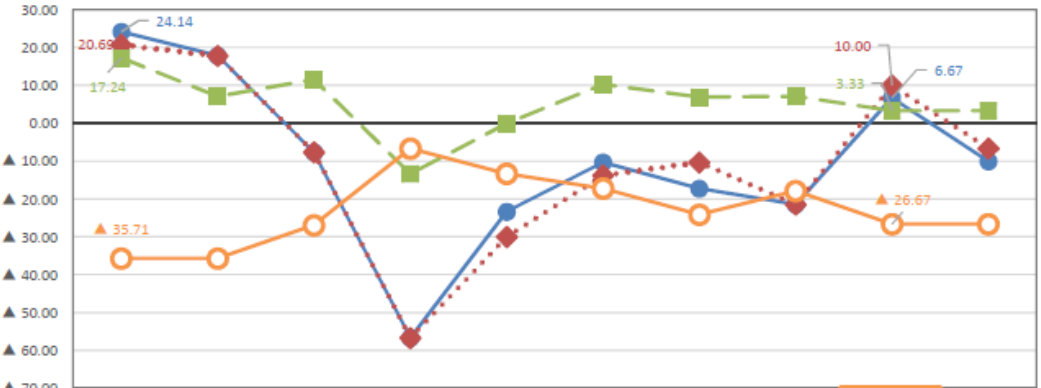
全地域の業況D.I.は▲6.67と、前期から7.62ポイント改善しています。東播磨地域は0.00と21.05ポイント改善しましたが、来期はマイナスの予想になっています。対照的に姫路地域は前期の0.00から▲28.57のマイナス域となり、来期もマイナスの予想になっています。



	2019年 7月～9月期	2019年 10月～12月期	2020年 1月～3月期	2020年 4月～6月期	2020年 7月～9月期	2020年 10月～12月期	2021年 1月～3月期	2021年 4月～6月期	2021年 7月～9月期（今回）	2021年 10月～12月期（予想）
全地域	25.00	17.86	▲ 15.38	▲ 53.33	▲ 40.00	▲ 17.24	▲ 20.69	▲ 14.29	▲ 6.67	▲ 13.33
東播磨地域	10.53	0.00	▲ 17.65	▲ 45.00	▲ 35.00	▲ 25.00	▲ 35.00	▲ 21.05	0.00	▲ 14.29
姫路地域	57.14	42.86	▲ 14.29	▲ 87.50	▲ 62.50	0.00	14.29	0.00	▲ 28.57	▲ 14.29

その他主要D.I.

売上額D.I.・収益D.I.は前期から改善されプラス域になりましたが、来期は共にマイナスの予想になっています。資金繰りD.I.は前期から低下したものの、来期予想と共にプラス域、人手過不足D.I.は前期から8.81ポイント低下の▲26.67となり、来期も横ばいの予想になっています。



	2019年 7月～9月期	2019年 10月～12月期	2020年 1月～3月期	2020年 4月～6月期	2020年 7月～9月期	2020年 10月～12月期	2021年 1月～3月期	2021年 4月～6月期	2021年 7月～9月期（今回）	2021年 10月～12月期（予想）
売上額D.I.	24.14	17.86	▲ 7.69	▲ 56.67	▲ 23.33	▲ 10.34	▲ 17.24	▲ 21.43	6.67	▲ 10.00
収益D.I.	20.69	17.86	▲ 7.69	▲ 56.67	▲ 30.00	▲ 13.79	▲ 10.34	▲ 21.43	10.00	▲ 6.67
資金繰りD.I.	17.24	7.14	11.54	▲ 13.33	0.00	10.34	6.90	7.14	3.33	3.33
人手過不足D.I.	▲ 35.71	▲ 35.71	▲ 26.92	▲ 6.67	▲ 13.33	▲ 17.24	▲ 24.14	▲ 17.86	▲ 26.67	▲ 26.67